

第4号議案

令和7年度 事業計画

(1) 総会

事業・活動名	内容等	実施時期
定期総会	令和6年度事業報告・収支決算報告・監査報告 令和7年度事業計画（案）収支予算（案）	5月9日

(2) 運営委員会

事業・活動名	内容等	実施時期
運営委員会	本会の運営に関する事項及び総会に諮るべき事項の審議	3ヶ月に1回程度
事業部会	事業実施に向けた企画・立案及び運営のための会議	必要の都度

(3) 各事業部会の事業

【地域振興部会】

事業・活動名	内容等	実施時期
花火大会	今年も、中荘絆花火大会及びお楽しみフェスタを開催します。模擬店や大抽選会を開催する予定ですが、今年は、警察音楽隊が他と重なる為、来れなくなったので、代替りの内容を検討中です。今年も、部員一同思考を凝らして皆さんに楽しんで頂けるように頑張ります。	9月28日
サンタクロース訪問事業	今年度も、サンタクロース訪問事業を計画。少子化が進む中ではあるが、プレゼントを待っている子供達の為に、部員が着ぐるみを着て訪問して喜んで貰いたい。	12月24日
グラウンドゴルフ大会	昨年度、雨で中止になったグラウンドゴルフ大会、区民の皆さんが楽しみにしてくれているので今年度は開催したい。	3月

【鳥獣害対策部会】

事業・活動名	内容等	実施時期
鳥獣害対策防護柵整備事業	交付金による、地域を囲む防護柵設置事業の最終年度として 1、 町の交付金及び材料の現物支給による、防護柵設置事業の継続実施。 2、 今後の活動継続に向けて、自治会長と連携し、取り組みを模索する。	6月～10月 10月～

【福祉・防災部会】

事業・活動名	内容等	実施時期
福祉に関する研修会	昨年度は各地区を訪問して意見を聞きそれを基に【各地区意見集】を作成。 今年度は、意見集をもとに、各地区を訪問し、どのように進めて行くか社協と共に各地区自治会長及び代表者と検討して行く予定。	6月～8月
防災視察	堺市の防災センターへ視察 他都市の防災視察をして意識を高める。	11月
防災備品配布	手すり付きポータブルトイレ・トイレ用パーソナルテント及び付属品等を、各地区分3年計画で購入配布予定。	3月

【農業部会】

事業・活動名	内容等	実施時期
夢のわだ販売所	販売所が出来て4年目。 1年を通してより多くの人に買って貰えるように細く長く続くような野菜作りをして行く。	通年
きのこ	部会員できのこ植菌は続けて行きたい。 育てたきのこを無人販売所で販売できるように頑張りたい。	2月
こんにゃく作り	11月7日・12月7日・1月7日を【こんにゃくの日】として、希望があればこんにゃく体験を実施する。	通年
黒にんにく	にんにくの栽培から黒にんにくに加工して販売を目指す。加工販売してくれる人募集。	9月～
獣害のない花のプレゼント	今年も【丁字草】を予定。	2月
さつまいも	昨年度、ファミリー芋掘り大会が大変好評だったので、今年度も実施予定。販売にも力を入れて行く。	6月～
イベント検討中	花火大会の時のイベントを、部会員で検討中。	9月

【万葉ワーキング部会】

事業・活動名	内容等	実施時期
宮滝史跡公園の整備 遊歩道の整備計画	今年度も、奈良県優良企業を回り【企業版ふるさと納税】のご寄付のお願いと、継続のお願いを役員一同で進めて行く。今年は、実施設計予定。 昨年度、実施した中荘全体のカーブミラーの清掃を継続していく。	通 年

【総務部会】

事業・活動名	内容等	実施時期
自治協だよりの発行	自治協議会の活動報告やお知らせ・募集等を掲載した「自治協だより」を出来るだけ毎月発行して自治協議会の活動を中荘地区区民に情報発信する。	通 年
備品貸出管理	宝くじ助成金で購入した備品、以前からの備品について貸出す体制が出来ている事から、今年度も必要に応じて区民に当該備品の貸出を行う。 なお、区民の方へ備品貸出意識の浸透を図るための周知は引き続き実施する。	通 年
中荘研修会館の管理	宝くじ助成金で購入した備品を置いてあるので管理をしていく。	通 年
地域づくり計画	令和3年度作成の「中荘地区自治協議会地域づくり計画書」を、ふるさと納税で中荘区民に寄付して頂いた方が特定できる場合は進呈する。	通 年
関係諸団体との連携	中荘地区における関係諸団体の現状を把握し、連携の可能性を探る。部会の一部においては、既に諸団体との連携を図り事業を推し、進めているところはあるが、第一段階として、先ず、当該地区に存する団体の団体について活動内等の現状把握をとりあえず終えたので、今後の連携の有無について模索したい。	通 年
のぼり旗の活用	昨年作成した「のぼり旗」をイベント開催を地元住民への発信ツールとして引き続き活用する。	通 年
行政との協働に関する活動としての空き家対策	空き家の実態を把握し、有効活用の可能性を探る。 第一段階として先ず、住宅地図で空き家マップを作成し、現状等について見える化を行う。 これにより、防犯防災上等にも有効に活用ができる。 町の空き家バンク等の連携及び空き家活用を図るための移住者の受け入れ等は、今後の課題とする。	通 年

